

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成16年度	根拠法令・例規等	備前市諸島地区高齢者等福祉船運航事業実施要綱
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室) 日生総合支所 窓口管理課 合 職・氏名 参事 西角 桂子 先 電 話 72-1102 このシート作成に要した時間 7.0 時間
	中項目	基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち	
	小項目	施策	21	高齢者への福祉の充実	
事務事業名		06 諸島地区福祉船運航事業			

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前市日生町の諸島地区に居住する満65歳以上の方、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳の交付を受けている方	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	諸島地区の高齢者等の行動の自由を確保し、引きこもりなどを予防するとともに市内の活性化を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	諸島地区の高齢者等ができるだけ地理的条件を克服し、障害なく行動できるようにする。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
諸島地区福祉船運航事業	諸島地区に居住する「満65歳以上」と「障がい者」の方を助成対象者として、定期船への一回乗船ごとに100円均一の運賃としている	○	
目的を達成するため実施した事業			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	7,656	8,101	8,561
	必要人員	人	0.17人	0.12人	0.11人
	費用対効果	人件費	1,480	1,112	951
財源	国県支出金	千円	9,136	9,213	9,512
	受益者負担				
	繰入金債				
その他()					
一般財源		9,136	9,213	9,512	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	単位当たりコスト				

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
		目標値(A)	90	90	90	90
		実績値(B)	84.5	88.7	99	到達目標値
		達成率(B/A)	93.89%	98.56%	110.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
1人分の年間利用回数=延利用人数(30,514)÷有資格者数(308)						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	平成21年度までは、諸島地区に居住する「満70歳以上」と「障がい者」の方を助成対象としていたが、平成22年度から、離島での総合的な福祉向上を図るため、助成対象者の枠を「満65歳以上」と「障がい者」に拡大したものである。平成27年4月の備前日生大橋開通後は、バス路線等の公共交通体制及び定期船航路また地区住民の要望も踏まえた上で継続、縮小等について、26年度中に見直しをする必要がある。						

総合評価	
平成19年度から利用者負担を導入したことにより、この事業に対する妥当性・効率性が向上したものと考えられ、本事業の目的を安定的に継続していくことができるものと考えられていたが、27年4月に備前日生大橋の開通により本土と鹿久居島、頭島が陸続きとなることから、バス路線等の公共交通体制及び定期船航路また地区住民の要望も踏まえた上で継続、縮小等について検討する必要がある。	総合評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	諸島・本土間の橋が27年3月に完成し4月に開通するため、この事業について、介護福祉課、福祉事務所及び備前市公共交通会議等とも連携をとりながら協議し、方向性を確定させる必要がある。なお、この事業を所管する正当な担当課へ移行することについても再検討する必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな